



女子5000m競歩で優勝した
七飯の吉田

吉田（七飯高）来季へ闘志

女子5000m競歩、大会新で優勝

R1.9.29
新起

女子5000m競歩は、吉田紗菜（七飯高一）が30分36秒94で大会新記録を樹立し、優勝した。スタートこそ、リズム良く歩いたものの「中盤からペースが落ち、精神的にきつかった」と吉田。そんな時、先頭を行く、共にスタートした男子の小森勲（走友会、70）をひたたりマークした。ラスト2周で小森を追い抜き、1秒差で競り勝った。

小森は今年9月の全日本マスタースの優勝選手で、元新記録の実業団選手。千代台公園陸上競技場で声を掛けてもらった縁で、練習のたびにアドバイスを受けてきた。横ぶれにつながる腕の振り方の修正や体幹強化にもつながった。目標タイムの30分を切ることはできなかったが「小森さんに引っ張ってもらって、ペースも落ちなかった」。

園庭で行われた全道新人大会に続いて優勝した吉田は「もっと体力をつけて、競歩技術のみならず、体力をつけてたい。来年はインターハイを狙いたい」と来季に向けて意欲を燃やした。